

登録コード	E6102900	開講年度	2026				
授業科目	障害児療育指導法実習					担当教員	楠見 友輔
英文授業名	Practicum in Day Care for Children with Handicaps					副担当	下山 真衣
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	4年生
講義室				授業形態	実習	遠隔授業科目	
						備考	R4年度までの入学者のみ
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標		授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
		2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ					
		教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				児童生徒への教育対応の中で、必要な倫理観と使命について説明できる。	
		教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				児童生徒への教育対応の中で、障害に関する理解と基本的な関わり方について説明し、実践できる。	
(2)授業で学べる「テーマ」		多文化協働					
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要		児童生徒の理解と教育内容の理解を確認した後、参観及び体験的な実習を行う。観察等終了後は、これまでの自己の知識や印象と実際の学校現場での様子とを照らし合わせ、今後の学習課題について明確化を図るための振り返りを実施する。					
(5)授業計画		第1回 教育実習の概要説明・調書作成 第2回 体験実習事前指導 第3回～第6回 特別支援学校体験実習（9月30日） 参観及び参加 第7回 体験実習振り返り 第8回 授業研究 特別支援学校の生活 第9回 授業研究 小学部の教育 第10回 授業研究 中学部の教育 第11回 授業研究 高等部の教育 第13回～14回 特別支援教育実習前指導（1月20日） 参観及び参加					
(6)成績評価の方法		・体験実習及び実習前指導の事後レポートの提出を求める。 体験実習及び実習前指導における姿とレポートを総合的に評価し、「合格」、「不合格」で評定する。					
(7)成績評価の基準		レポートより、省察に基く実践の態度とスキルが身についていれば「合」の水準を満たすものとする。					
(8)事前事後学習の内容		事前学習として、授業で取り扱う障害種及び該当する特別支援学校について、その概要と特徴をレポートにまとめることを求める。また、事後学習については事前にまとめたものとの相違点、修正を行い、改めて提出することを課す。					
(9)履修上の注意		特になし。					
(10)質問、相談への対応及び連絡先		質問、相談については楠見まで メールアドレス：kusumi@shinshu-u.ac.jp.					
【教科書】		学習指導要領（特別支援学校小・中学部） 参考書：授業の中で、障害の種類に応じて紹介する。					
【参考文献】							